

令和3年度 北海道青少年のための200冊 新選図書目録 (41冊)



公益財団法人 北海道青少年育成協会
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階
TEL. (011) 231-6451 FAX. (011) 231-6457
ホームページ: <http://www.ikuseikyoo.jp/>
facebook: <https://www.facebook.com/ikuseikyoo>
Eメール: youth@ikuseikyoo.jp

「道民家庭の日」
イメージキャラクター
ぼーぼーくん

幼児の部

カールはなにをしているの? [BL出版] 1,650円
デボラ・フリードマン (作)



ミミズのカールは、毎日土を掘り、枯れ葉を食べては糞を出す日々。ある日「どうしてそんなことをしているの?」と尋ねられたカールは、答えを探す旅に出ます。どの生き物にも大切な役割があり、お互いを必要とし、繋がっていることを、温かく描く科学絵本。

きょうりゅうのサン きょうぼくはなまえをもらった [アリス館] 1,650円
かさい まり (文) 星野 イクミ (絵)



恐竜「カムイサウルス・ジャポニクス」(むかわ竜)の父さんと母さんが、生まれだてのぼくに名前を考えてくれています。ぼくも、たくさんの仲間たちに名前を聞きながら、自分の名前を探します。最後に両親が名付けた名前に、命のつながりと愛を感じる絵本。

100 [福音館書店] 990円
名久井 直子 (さく) 井上 佐由紀 (しゃしん)



どんぐりや積み木、金魚、輪ゴムなどを、100ずつ集めて撮っている美しい写真の数々。いろいろな1と100を見ることができ、ページをめくる楽しさを味わいながら、子どもたちが「100」を視覚的に捉えられる絵本。

やっこさんのけんか [フレーベル館] 1,540円
殿内 真帆 (作・絵)



折り紙で作った5つの「やっこさん」たちが、それぞれ自分が一番だと言い出します。「やっこさん」たちは、お相撲さんや飛行機、船にと次々変身し、勝負していきますが…。日本の伝統遊び「ORIGAMI」をモチーフにした色鮮やかな絵本。

小学校1年生の部

悲しみのゴリラ [クレオンハウス] 1,980円
ジャッキー・アズーア・クレイマー (作) シンディ・ダービー (絵)



母を亡くした男の子のもとに、現れた寡黙で大きなゴリラ。男の子の問いかけにそっと答え、大切な人を失う悲しみに寄り添います。悲しみが大きすぎる故に、分かち合えず苦しんでいた父と子が、新しい日常を歩き出すまでを、美しい水彩画で繊細に描いた絵本。

宇宙誕生からはじまるいのちのものがたり きみはどこからやってきた? [角川書店] 1,650円
フィリップ・バンティング (作)



宇宙が誕生したビッグバンから、私たちが産まれるまでの138億年にわたる進化を、専門的な科学用語や年代表記を使わずに、とてもわかりやすく伝えていきます。まるで近所に住む物知りなおじさんが、ユーモアたっぷりに語ってくれているようなスタイルの科学絵本。

アルフィー (ゆくえふめいになったカメ) [絵本塾出版] 1,650円
ティラ・ヒーダー (作)



ニアは、6才の誕生日に出会ったカメのアルフィーが大好き。しかしアルフィーは、1年後の誕生日の朝、突然消えてしまいます。途中からアルフィーの視点で描かれ、ニアへの思いや消えた理由が分かります。大事に想う友だちへの思いを伝えたい絵本。

鳥のおはなし絵本 すずめのまる [アリス館] 1,650円
箕輪 義隆 (絵) かんちく たかこ (文)



スズメの女の子「まる」が、巣立ってから雛を育てるまでの、約1年間を描いたお話です。今も昔も、日本で一番身近な鳥であるスズメですが、その生活は結構大変。野鳥画家が描く精緻でありながら、親しみやすい絵で野生の鳥としての生活を知ることができる科学絵本。

小学校2年生の部

かしたつもり×もらったつもり [くもん出版] 1,540円
かさい まり (さく) 北村 裕花 (え)



買ってもらったばかりの恐竜図鑑を“貸した”つमりのれん。大きな工事現場の音のせいで聞き損ね“もらった”と勘違いしたれん。子どもがよくある思い込みや、勘違いから始まる喧嘩と仲直りを描いた物語。自分や友だちの気持ちを考えるきっかけとなる絵本。

氷上カーニバル [のら書店] 1,760円
あべ 弘士



氷上カーニバルは、札幌市の中島公園にあるスケートリンクで、昭和時代に実際に開いていた冬のお祭りです。雪に閉ざされた冬の終わりを祝うため、様々な手作りの仮装をして行われ、当時の子どもたちに深い感動や思い出を刻んだ、カーニバルを色鮮やかに描いた絵本。

ステラとカモメとプラスチック うみべのおそうじパーティー [岩崎書店] 1,760円
ジョージナ・スティープス (作) イジー・バートン (絵)



プラスチックゴミのせいで、具合が悪くなったカモメのミューちゃんを心配したステラは、みんなで海辺をきれいにする“お掃除パーティー”を開こうと動き出します。大きな変化を生み出すのに大切なことは、「小さな一歩」や「思いやり」だと気付かせてくれる絵本。

どこからきたの? おべんとう [金の星社] 1,430円
鈴木 まる (作・絵)



お弁当の袋の中には、お母さんのメッセージが入っていました。それは、食材の旅の物語。愛情たっぷりのお弁当が伝える“食べる喜び”はもちろんのこと、食材の生産現場、流過程、調理の仕方などを、シンプルな絵と文でわかりやすく伝えてくれる食育絵本。

小学校3年生の部

世界遺産知床の 自然と人とヒグマの暮らし [少年写真新聞社] 1,760円
伊藤 彰浩 (写真) 伊藤 かおり (文)



世界自然遺産知床のヒグマは、「人慣れ」することで様々な問題が起きています。ヒグマと人が共に安全に暮らすには、どうすればよいのかという共生について考えさせられる本。知床の美しい自然とともに、地元の取組も分かる。

動物たちが教えてくれる 海の中の暮らし [福音館書店] 1,430円
佐藤 克文 (文) 木内 達朗 (絵)



南極の海の中で、アザラシやペンギンやクジラがどんな暮らしをしているのか。データロガーという小型の記録計を、生き物につけるといいう新しい手法である「バイオロギング」で、人が直接観察できない海中の暮らしが分かる。

しあわせなときの地図 [ほるぷ出版] 1,540円
フラン・フニョ (文) ズザンナ・セレイ (絵)



戦争のせいで、思い出がいっぱいある町を出なければならなくなったソエ。思い出の場所を地図に記していくと、そこに浮かびあがったのは…。悲しさ、理不尽さの中、「いずれこの町に戻ってこよう」という小さな希望が描かれる本。

俳句ステップ! [佼成出版社] 1,430円
おおぎやなぎ ちか (作) イシヤマ アズサ (絵)



3年生の主人公、七実は、クラスでも目立たない存在。俳句を通じて、自分の気持ちを表せるようになる。そこに、市の俳句大会での盗作問題が起きる。自分の作品のほずなのに…。俳句のよさや人と気持ちを通わせることの楽しさを描いた本。

小学校4年生の部

AIロボット、ひと月貸します! [岩崎書店] 1,320円
木内 南緒 (作) 丸山 ゆき (絵)



未来科学研究所が、1か月限定で貸してくれたAIロボット。初めは自分の代わりに様々なことをしてもらい、便利だと感じた栄太だったが、そのうち、AIが人間にとってかわるのでは?と疑いの気持ちをもつようになる。AIロボットと人との通じ合いを描いた本。

神さまのPATCHワーク [ポプラ社] 1,430円
山本 悦子 (作) 佐藤 真紀子 (絵)



小学4年生の結には、お母さんが二人いる。生まれてすぐ、特別養子縁組でみかん農園である石川家の子になった。姉の香にもお母さんが二人いる。様々な布を集めて作るPATCHワークに家族の姿を重ね、家族の形を考えさせてくれる物語。

小学校5年生の部

きみの声がききたくて [文研出版] 1,540円
オーウェン・コルファー (作) P. J. リンチ (絵)



人間を信じるができなくて、吠えることもできなくなった子犬。悲しそうな瞳に同様の絆を感じたパトリック。互いを無二のものとしてつながり、心を通い合います。「相手を思いやる」ことの素晴らしさを一人と一匹は伝えてくれる。

消えたレッサーパンダを追え! 警視庁「生きもの係」事件簿 [学研プラス] 1,540円
たけたに ちほみ (文)



警視庁にある「生きもの係」は、生き物にまつわる事件を専門に捜査する係。福原警部が担当した事件を、事件簿風にまとめた1冊。作り話のような本当であった話から見えてくる、世界規模の環境問題についても気づかせてくれる本。

おじいちゃんとの最後の旅 [徳間書店] 1,870円
ウルフ・スタルク (作) キティ・クローザー (絵)



大好きなおじいちゃんが入院した。おばあちゃんと二人で暮らしていた家にあるものを、死ぬ前に取りにいきたいと言う。孫のウルフは、大好きなおじいちゃんのために、病院を抜け出す計画を立てる。

小学校6年生の部

命のうた ぼくは路上で生きた 十歳の戦争孤児 [童心社] 1,540円
竹内 早希子 石井 勉 (絵)



中学校の先生をしていた山田さんは、10歳で親を亡くした戦争孤児。毎日どうやって食べ物を手に入れるか、それだけを考え、未来への夢や希望のない毎日だったが、ある出会いで人生が変わる。自立するまでの17年間の物語。

ヤーガの走る家 [小学館] 1,760円
ソフィー・アンダーソン (作)



12歳のマリカは、死んだ人を導く門番の番人になる運命を背負っている。しかし、すんなりとは受け入れられず、自分の願いや希望をかなえようと、行動し考える中で成長していく。可能性を信じ未来を切り拓いてほしいというメッセージが響く。

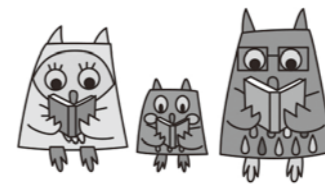
*掲載されている書籍の価格は税込価格です



北海道「朝読・家読運動」イメージキャラクター「ぶっくん」







学校での朝の読書や家庭での読書を通じた子どもたちの読書習慣の定着を図るため、北海道「朝読・家読運動」のイメージキャラクターとして誕生しました。本から心の栄養をたっぷり吸収し、めがねがハート型になっています。

令和3年度 北海道青少年のための200冊 新選図書目録 (41冊)





公益財団法人 北海道青少年育成協会
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階
TEL. (011) 231-6451 FAX. (011) 231-6457
ホームページ: <http://www.ikuseikyoo.jp/>
facebook: <https://www.facebook.com/ikuseikyoo>
Eメール: youth@ikuseikyoo.jp

中学生の部

<p>ドーナツの歩道橋 [ポプラ社] 1,540円 升井 純子</p> 	<p>この春、高校1年生になったばかりの 麦菜は、ドーナツ型の歩道橋のそばでパ ン屋を営む両親と弟、そして祖母と暮ら している。介護が必要な祖母をめぐっ て、家族はぎすぎすし麦菜は悩むが、高 校の友だちはそんな麦菜を見守ってく れている。</p>
<p>ハジメテヒラク [講談社] 1,540円 こまつ あやこ</p> 	<p>中高一貫校に入学した綿野あみのひそ かな趣味は脳内実況。生け花部に入部し て、高校2年生の部長をはじめ、バラバ ラなタイプの部員たち4人で活動してい く。生け花をライブで発表することにな った時、あみは「実況」で参加する。 軽快で楽しい青春物語。</p>
<p>希望の図書館 [ポプラ社] 1,650円 リサ・クライン・ランサム (作)</p> 	<p>1946年、アメリカ。「黒人は、図書館 に入れない」とラングストンの母親は 言っていたが、新しく越してきたシカゴ の町で、ラングストンは、だれもが自由 に入れる図書館を見つける。読書の喜び を通じて、小さな自信と生きる勇気を手 に入れていく少年の物語。</p>
<p>14歳のひろしま ワタシゴト [汐文社] 1,540円 中澤 晶子 ささめや ゆき (絵)</p> 	<p>修学旅行で広島平和記念資料館を訪 れた5人。14歳の彼らが見た被爆資料と それに関わる事柄が、それぞれに悩みを 抱え、戦争とは遠い世界で暮らす彼らに 、平和について深く考えさせていく。そ れぞれの短い物語が、戦争の記憶を「 渡し」ていく。</p>
<p>団地のコトリ [ポプラ社] 1,540円 八東 澄子</p> 	<p>父を亡くし、母と二人暮らしをして いる美月は、バレーボールに青春をかける 中学3年生。ある日、家で飼っているイ ンコが逃げ出し、階下の独居老人が住 む部屋の窓辺で発見するが、そこには はずのない女の子の気配を感じる。あの 子はいったい誰なのか。</p>
<p>十歳、ぼくは突然「敵」とよばれた [汐文社] 1,760円 アンドレア・ウォーレン (著)</p> 	<p>アメリカ人のつもりで育ったのに、太 平洋戦争中、「ジャップ」「敵」とよば れ、強制収容された少年ノーマン。日系 アメリカ人への差別と状況を、後に市長 や下院議員を務めたノーマン・ミネタ の生き方を通して私たちに伝えてくれる ノンフィクション。</p>

<p>キャラメル色のわたし [鈴木出版] 1,760円 シャロン・M・ドレイパー (作)</p> 	<p>黒人のパパと白人のママが離婚し、イ ザペラは1週間ごとに両親の家を行き来 する生活を続けている。自分はどちらの 家にも「行く」だけで、居場所ではな いと感じていた。そしてまた、自分は白 人なのか黒人なのか悩む。「自分」に悩 む少女の物語。</p>
<p>イーブン [小学館] 1,540円 村上 しいこ</p> 	<p>学校で友だちとケンカしたのをきっか けに、登校できなくなった美桜里。カ レーのキッチンカーを出していたおじ さんと少年に出会い、意気投合してカ レー作りを手伝うことになる。対人関係や 社会の問題に目を向け、少しずつ美桜里 と周囲の人々が変わっていく。</p>
<p>かけはし 慈しみの人・浅川 巧 [新日本出版社] 1,760円 中川 なをみ</p> 	<p>日本が朝鮮を植民地とした時代。白磁 の器、木工の膳——朝鮮の人々が日常 に使う道具の美しさに魅せられ、柳宗悦 とともに「朝鮮民族美術館」設立に尽力 した浅川巧。朝鮮の人々の文化に敬意を 払い、愛した、一人の日本人の物語。</p>
<p>ハナコの愛したふたつの国 [小学館] 1,760円 シンシア・カドハタ</p> 	<p>ハナコの家族は、ロサンゼルスでレ ストランを営んで暮らしていたが、戦 争が終わり、祖父母の待つ日本で暮らす ことになった。戦争に負けた日本は荒れ 果てていたが、祖父母はハナコたちを 待っていてくれた。歴史に翻弄されな がらも、強く生きる姿を描く。</p>

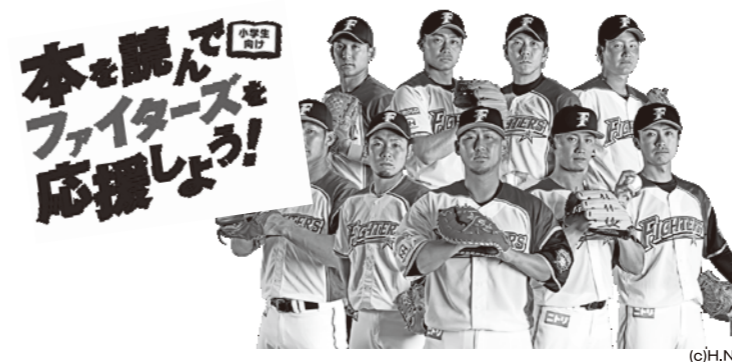
高校生・青年の部

<p>エンド・オブ・ライフ [集英社インターナショナル] 1,870円 佐々 涼子</p> 	<p>在宅医療に携わる医療従事者の奮闘と 葛藤を見つめたルポルタージュ。そこ には多様な患者と家族の「ひとつだけ の物語」もある。著者の母親の在宅から 入院による状況変化には恐怖し、医療 従事者であった看護師の末期ガンでの 「命の閉じ方」には、羨望と共感を持つ。</p>
<p>逆ソクラテス [集英社] 1,540円 伊坂 幸太郎</p> 	<p>先入観たっぷりて接する担任の思い込 みをひっくり返すため、「僕はそうは思 わない」の言葉を武器に、友人たちと作 戦を練り立ち向かったあの日。いじめ や無意識の偏見、理不尽な出来事に真 直ぐな感性と友情で挑む小学生たち。成 人後の物語も加えた連作短編集。</p>

<p>チーム・オベリベリ [講談社] 2,530円 乃南 アサ</p> 	<p>明治16年、未開の地・オベリベリ(帯 広)の開拓は晩成社により始まった。取 り組みの多くは失敗し、開拓は筆舌に 尽くし難い苦難の連続であった。晩成社 に青春の夢をかけた3人の若者と、共 に行動した人々の生きざまが、史実に 基いた圧倒的スケールで描かれる物語。</p>
<p>昨日星を探した言い訳 [KADOKAWA] 1,650円 河野 裕</p> 	<p>「将来は日本の総理大臣になり人類の 平和が目標」と、転校の挨拶をした緑 の瞳の少女。その目的のため周到に計 画を練り、ひた走る彼女を応援すると 決めた黒い瞳の少年。全寮制の共学 中高一貫校を舞台に、差別と偏見と 歴史の闇に挑んだ生徒たちの恋と闘 いの物語。</p>
<p>お推し、燃ゆ [河出書房新社] 1,540円 宇佐見 りん</p> 	<p>明日の準備をする、約束を守る、部 屋を片付ける…。誰もが普通になす ことが上手に出来ない。でもSNSで のアイドルの推し活動は別人ように スムーズ。ある日、その「推し」が 炎上した！どうする？ SNSを通 じて繋がる世界と現実社会でも がく女子高生の日々。</p>

<p>神さまの貨物 [ポプラ社] 1,540円 ジャン・クロード・グランベール</p> 	<p>貧しい木こりの妻は、森を走り抜ける 不思議な列車(ユダヤ人を強制収容所へ 運ぶ)に、「私に赤ちゃんを」と毎日 祈っていた。ある日、列車の窓から 投げられた赤ちゃんを受け取る。託 された小さな命を守るため、生き延 びるための壮絶な闘いとホロコース トを描いた物語。</p>
<p>新版 絵はがきにされた少年 [柏艸舎] 1,870円 藤原 章生</p> 	<p>アフリカに5年半駐在した毎日新聞 記者による、アフリカの人々の暮ら しと思いを伝えるルポルタージュ。 メディアが伝える切り取られた事 実の断片と、伝えられなかった真 実に迫る。ピューリッツァ賞受賞 の「ハゲワシと少女」撮影時の 顛末が示すものとは…。</p>
<p>ルポ「命の選別」 誰が弱者を切り捨てるのか? [文藝春秋] 1,870円 千葉 紀和 上東 麻子</p> 	<p>「出生前診断」「着床前診断」「遺 伝子のゲノム編集」等の受精段階 医学の最前線は、赤ちゃんを授か るとの柔らかな夢を見事に切り捨 てる。医学の進歩と先端技術が向 かう先にある命とは？ 幸福とは？ 「優生化社会」の実情を多角的に とらえたルポルタージュ。</p>

※掲載されている書籍の価格は税込価格です



(c)H.N.F.

「北海道青少年のための200冊」選定の柱

- 1 何ものにもくじけない、強じんな開拓精神を育てるために。
- 2 人間の幸せに貢献する科学に、尽くそうとする心を育てるために。
- 3 平和を愛し、幸福な社会をつくらうとする心を育てるために。
- 4 人間の尊さを守らうとする心を育てるために。
- 5 想像力を広げ、豊かな情操を育てるために。

【41冊はどうやって選ばれたの?】

北海道青少年育成協会が委嘱する北海道学校図書館協会選定部の先生方が、毎月2回実施している選定会の中で読んだ多数の作品から厳選したものです。

【どのように活用されているの?】

①学校では、朝読書や夏・冬休みのおすすめ本の紹介として児童生徒へ配布 ②公立図書館では200冊の資料展示 ③「本を読んでファイターズを応援しよう!」キャンペーンなど幅広く活用されています。また、小・中・高等学校や教育関係機関のホームページでも紹介されています。